

平成 24 年 7 月 20 日

報道関係各位(報道部担当部署様)

果夢林ショップ運営協議会
会長 菅原武美

おんねゆ温泉・山の水族館 入館者数のご報告
旧水族館の年間入館者数約 2 万人を、2 週間で達成！

盛夏の候 報道関係の皆様には、日頃よりご支援・ご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

お陰を持ちまして、7月7日にオープンしました新しい水族館『おんねゆ温泉・山の水族館』の入館者数が7月21日に2万人に達する見込みです。

わずか2週間で、旧水族館の1年間の入館者数を達成したことになり（旧水族館の最終年の入館者は19,223人）、関係者一同、驚くと共にお越し頂いた来館者の皆様、そして特に地元マスコミをはじめ報道関係の皆様には、特集やシリーズ化、機会あるごとの取材など格別な報道を頂き、その結果の現れであると深く感謝しているところです。

連日のお客さまのご来館で、特に休日は、道の駅おんねゆ温泉の駐車場は満車状態となりご迷惑をおお掛けしておりますが、果夢林ショップや果夢林ワールドをはじめ、からくり王国（飲食店街）なども行列ができるほど集客効果が大きく、ホテル・旅館などの相乗効果も現れてきており、温根湯温泉観光関係者からは、水族館効果と感謝されております。

新しい水族館の年間入館者目標は、旧水族館の最高入館者数 52,150 人と同等の 5 万人としていましたが、その目標も 8 月中には到達するものと思われまます。当館も来館者の期待に沿えるよう努めていきますので、今後とも変らないご支援ご協力を賜りますようよろしく願いいたします。

なお、プロモーション計画において集客達成目標を 10 万人～17 万人と述べていた中村元プロデューサーから、次のようなコメントをいただきましたので、紹介します。

中村プロデューサー談

たいへん喜ばしいことです。とりわけ有料入館者のうち大人の割合が 87%という高い数値は、近年の新しい有名水族館を上回る数値であり、大人の集客を狙った”水塊”の展示が効果を上げたと評価できます。また、建設費がわずか3億数千万円で、これほどの集客があった水族館は全国どこにもありません。費用対効果が最高の水族館としても注目を浴びるでしょう。

しかしながら、どれほどいい水族館をつくっても、それが利用者の目や耳に届かなければ集客は望めません。今回は、プロモーション計画においても大きな成功を収めることができました。この水族館の奇跡を全道に全国にと努力いただいた、地元マスコミのみなさんの熱いご支援の結果であると深く感謝をしています。

もちろん、冬の厳しさという北海道特有の事情があり、通年開館を行うには、いろいろな困難もあるでしょうが、そこで用意しているのが『冬には凍る、四季の水槽』であり、どれほどの効果を上げるかが今から楽しみです。

今後、せっかくお越し頂いたお客さまには、常に十分な満足を得られるよう努力し、1年を通して、北の大地の水中世界の驚きと知的好奇心を満足していただけるよう、北海道一の水族館、さらには日本有数の水族館に育てていきたいと考えています。

※ 昨日までの入館者の推移は次の通りです。

7/土	8/日	9/月	10/火	11/水	12/木	13/金	14/土	15/日	16/月	17/火	18/水	19/木	計
1749	2130	1004	931	555	603	690	2282	3708	3395	784	615	527	18973